

# 爆発物原材料対策通信

平成30年4月25日

第39号

岩手県爆発物原材料  
取扱事業者等連絡会

身近な商品から爆発物を製造できる可能性があります

爆発物の原料となり得る化学物質(11品目)・花火

<b>硫酸</b> 	<b>塩酸</b> 	<b>硝酸</b> 	<b>過酸化水素</b> 	<b>塩素酸カルウム</b> 	<b>塩素酸ナトリウム</b> 
<b>尿素</b> 	<b>硝酸カルウム</b> 	<b>硝酸アンモニウム</b> 	<b>アセトン</b> 	<b>ヘキサミン</b> 	<b>花火</b> 

近年発生した  
国内爆発物事件

- 平成28年10月、栃木県内において、自作と思われる爆発物を爆発させ、通行人に重傷を負わせた殺人未遂事件が発生し、死亡した容疑者を書類送致
- 平成28年12月、岐阜県内において、窃盗犯人の自宅を捜索中、市販の商品から製造可能な爆発物(TATP)が発見され、爆発物取締罰則違反で逮捕

不審な購入者の情報提供をお願いします！

- 不自然な大量購入ではないか？
- 化学物質が含まれる複数の商品を一度に又は連続して購入していないか？
- 花火の不審な大量購入・連続購入はないか？
- 購入時に不審な挙動をしていないか？

Check!

警察では、ラグビーワールドカップ2019日本大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け爆発物原材料対策を推進しています。